

令和6年度 大田区立東調布第一小学校 自己評価 報告書

令和7年2月15日

○ 本校の概要

○開校146周年 児童数655名(9月1日現在) ○学級数21学級 特別支援学級(4学級) ○総教職員数87名:校長1 副校長1 教員29名 養護教諭1 栄養士1 事務1 専門員1  
 都費講師7 都SC1 区SC1 用務主事3 介添員5 学校事務補助員1 副校長アシスタント1  
 学校特別支援員1 教員支援員1 読書学習司書1 学習補助員1 理科支援員2 登校支援員3 学校特別補助員4 体育指導補助員1 児童誘導員2 施設管理員4 給食12 ALT1  
 ○令和6年度 大田区教育委員会 独自教科「おおたの未来づくり」研究実践校  
 校内研究主題「様々な人と豊かに関わりよりよい未来をつくる児童の育成～教科「おおたの未来づくり」に向けてのカリキュラム開発～」  
 ○近隣にある東調布中学校、田園調布高校、おおた図書館等の教育財産や多摩川等の自然財産を生かした教育活動  
 ○PTA、学校支援地域本部「とういちサポーターズリンク」、おやじの会、同窓会、5つの町会等による地域との連携

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	○の記入	コメント								
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来し社 会を創 造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	以下の児童アンケートから評価する。  <児童アンケート> 「めあてを立てたり、振り返ったりして学習している。」の質問に肯定的な回答の割合	4: 90%以上	・児童アンケートの肯定的な回答の割合……86.6%  ・めあてを立て、そこに対する振り返りをしていく学習が定着しているといえる。 ・共通のめあてに向かって学習するだけでなく、個人のめあてに向かって学習することも、今後、充実させていく。	A	8	・様々な取組により、児童の創造性が高まっていると感じる。 ・一人一人が目的に向かって学習できるように取り組んでいる。 ・児童アンケートの回答の割合数値はとても高く良い結果だと思ふ。 ・「おおたの未来づくり」の活動を評価した。 ・タブレット活用、タイピング習得で情報収集力は高まっていると感じる。 ・授業その他、児童と接する機会が限られているため、偏った評価になってしまうが、もっと積極性が欲しいと思ふ。 ・主体性を養い、集団の中で考えたり気付いたりできるように、何をしてももう少し時間を与えてあげられたらと思ふ。 ・教員の導きは、とても考えられていると感じるが、「児童自ら」という部分を増やせたらと思ふ。そのための時間が大切になってくるのですが、難しいことも分かる。 ・情報活用能力の育成のためには、専門家の力を借りることもあっていいと思ふ。 ・地域住民として、教育内容の詳細は分からないが、現状の教育に対し体験活動は非常によいことだと思ふ。そのための協力は地域でもがんばっていく。 ・新しい取組も多く、教員の日々の対応も大変だと思ふ。 ・学校は、保護者がやるべき人間教育も任せられがちだが、勉強や体力づくりをさらに頑張りたい。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 80%以上												
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 70%以上												
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 70%未満														
			お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うがる 材国を 際育都 成市し ます	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。		①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。					4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	以下の児童アンケートから評価する。  <児童アンケート> 「英語を使って、先生や友達と、挨拶や歌、ゲームなどをして、コミュニケーションを取ろうとしている。」の質問に肯定的な回答の割合	4: 80%以上	・児童アンケートの肯定的な回答の割合……81.6%  ・英語を使ったコミュニケーションの素地が、概ね身に付いているといえる。 ・「英語カフェ」の取組を、引き続き工夫・改善し、英語を使う場面を創出していく。 ・継続して英語に親しむ態度を養うため、中学校との連携を一層図っていく。	A	9	・児童の習い事などでの学習状況にもよるが、英語教育が浸透していると感じる。 ・英語を使って挨拶から始まりゲームでの会話に親しみを覚え、中学校へ行き、一層の向上に向けて努力している姿が見える。 ・教員が児童に対して、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っていくことに関して、さらに高い取組評価を期待する。 ・コミュニケーションツールとしての英語の学習よりも、大半の児童にとって母語・第一言葉である日本語を正しく、美しく使えるようになることも重視したバランスの取れた指導になっていたという面から、こちらの評価をした。英語カフェについて、もっと情報がほしい。 ・英語に慣れ親しむに関しては、低学年から楽しそうな授業の様子が見られるので、年々積み重なっているのではないかと思ふ。 ・高学年の英語力は、中学進学時に出身学校によって差が出ないのか気になる。 ・教員の評価が低いのは、何が足りないと感じているのか知りたい。 ・区の目標でもある「グローバル化と地域力」の1つでもあるグローバル化に欠かせないものが語学であり、現在取り組んでいる対応は、素晴らしいと思ふ。 ・日本の伝統文化である茶道の体験を6年生とともに学習した。東ステージでの準備で多忙中、児童からのメッセージが宝物となった。児童一人一人の感想から、日頃の学ぶ姿勢や友人への思いやりをもって学校生活を送っていることが伝わってくるメッセージが多く、嬉しかった。教員と児童の心のつながりも感じられた。 ・学校が頑張っているから、こどもたちも益々頑張れる人になっていくと思ふ。 ・81.6%が、他の項目の数字に比べると低い印象である。小学校での英語に苦手意識をもたないように、楽しく勉強できる環境づくりが大切だと思ふ。
											3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			3: 70%以上				
											2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			2: 60%以上				
											1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 60%未満						

<p>た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とがな 個性 力とを 能力 成し ます する</p>	<p>児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。</p>	<p>①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	4	<p>以下の児童アンケートから評価する。</p> <p>&lt;児童アンケート&gt; 「授業の内容が分かる。」の質問に肯定的に回答の割合</p>	4: 90%以上	<p>・児童アンケートの肯定的な回答の割合……95.2%</p> <p>・基礎的な学習内容の定着が図られていることがいえる。 ・定着が十分でない児童に対しては個別の支援を行い、分かることを一つずつ増やしていく。 ・習得から活用へ移行できるよう、授業計画に幅をもたせて実施していく。</p>	A	9	<p>・中学校が隣接されている地域性が大いに活かされていると感じる。 ・基礎的な学習が図られており、一人一人のこどもに確かな教育や生活習慣を身に付けさせていることが見える。 ・肯定的な回答が95.2%という数字で、とても素晴らしいことだと思う。 ・道徳授業は、指導者からの一方通行ではなく、こどもが自ら考えることでより深い学びとなっている。 ・AIドリルにより、習熟度に合わせた学習 ・体育の授業での、児童の集中力の低さが気になる。昔と違って、身体を動かす楽しさや喜びを味わうことが目的の一つにあるにしても、今の自分の全力を出せるような姿勢が見られる場面が増えて欲しい。 ・習熟度に応じた指導は、年々難しくなっているように感じる。教員は、授業の進め方や説明の仕方など、苦勞していると思う。 ・卒業生の半数近くが私立中学に進学する状況での、小中一貫の視点の変化などは、あるのか。 ・個に応じた教育は、これからの日本に対し大変必要なことであり、生きた道徳につながると思う。安心して任せられる学校に感謝している。 ・学習への意欲を維持または高めていくことはとても難しいことと思うが、個別の支援を行い、学習する姿勢が高まっていくことは、素晴らしいことだと思う。 ・道徳を教えるには、教員はさらに強い心でこどもたちを指導して欲しいと思う。 ・中学校改築に際し、いろいろな協力に感謝している。</p>
		<p>②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3		3: 80%以上		B	1	
		<p>③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3		2: 70%以上		C		
		<p>④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3		1: 70%未満		D		
<p>学個 校別 力目 ・標 教4 師力 を向 上さ せま す</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3	<p>以下の保護者向け学校公開アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者向け学校公開アンケート&gt; 「児童にとって、授業の内容が分かるように工夫されている。」の質問に肯定的な回答の割合</p>	4: 90%以上	<p>・保護者向け学校公開アンケート（1学期と2学期）の肯定的な回答の割合の平均……95.9%</p> <p>・教師による授業の工夫について、評価をしていただいた。授業力の向上は、教師の本務であり、引き続き研鑽に努めていく。 ・今後とも、教材研究に力を注ぎ、児童にとって分かりやすい授業を実践していく。</p>	A	9	<p>・教師力が高く、児童にとって授業内容が工夫されていると感じる。 ・教員が自分の専門性を生かし、児童と向き合い、授業力の向上に努め、分かりやすい授業を行っていると思う。 ・教員の努力が保護者のアンケート結果に表れていて喜ばしく思う。 ・教員の専門性を生かして、教科担任制などが行われているのか。 ・行事の見直しや縮小は時代の流れとして仕方がないと理解できるが、それこそ学校ならではの、学校でないと体験できないことなので、教員のウェルビーイングを叶えつつ、両立できないものかと思わずにいられない。 ・学校と教員が一体となって取り組む姿勢は、大変素晴らしいことであり、その結果が安心・安全な町づくりにつながるものと考えている。 ・教員の常に前向きな姿勢に感謝する。目標に向けて取り組むにあたり、教員の心身への負担が心配である。 ・教員は夜に残って教員同士の会合をしていたり、自己を高める努力をしていたりして、とてもよいと思う。</p>
		<p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3		3: 80%以上		B	1	
		<p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p>	<p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	3		2: 70%以上		C		
						1: 70%未満		D		

<p>た自個 め分別 のら目 学し標 びく5 をいき 援いき します と生き る</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の保護者アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 「学校は、いじめを未然に防止するため取組を行い、発見した場合は、適切な対応をしている。」の質問に肯定的な回答の割合</p>	<p>4:90%以上</p>	<p>4</p>	<p>・保護者アンケートの肯定的な回答の割合……91.1%  ・引き続き、いじめを未然に防ぐ取組を行っていく。また、軽微ないじめも見逃さずに取り上げていき、いじめに対する組織的な対応を今後も行っていく。 ・再発防止に努めるとともに、少なくとも3か月の見守りをもって、いじめの解消について判断していく。</p>	<p>A</p>	<p>8</p>	<p>・保護者を含め多様な考え方がある中で、様々な取組により支援が行き届いている。 ・いじめや教室に入れない子どもたちなど、一人一人の子どもたちを見守っている姿に感謝している。 ・現在の多忙な教員が、いじめ問題まで対処しなければならぬ環境が、非常に酷だと思う。 ・困難のある児童に寄り添ってくれている支援員の方々には、本当に感謝しかない。 ・困難のある児童を抱える児童にも寄り添える場や機会があるといいと思う。 ・昨今気になるのは、やはりいじめ問題であり、学校が取り組んでいる各種専門的な対応は、素晴らしい、地域住民としても学校対応に感謝している。 ・一人一人の状況に合わせて対応することは、大変なことと思うが、大切なことでもあるため、保護者と連携を取りながら、進めて欲しいと思う。 ・一人一人に合わせた学校教育は難しいものの、とてもよく努力をしている。 ・学校としての特色がもっと出れば、児童や保護者がより付いてくるのではないかと思う。</p>		
		<p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p>	<p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>3</p>						<p>3:80%以上</p>	
		<p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>									<p>4</p>	<p>2:70%以上</p>
		<p>④様々な要因で学校には通えませんが教室には入れず、授業に参加できないなど、不登校の兆候が見られる児童や個別の配慮が必要な児童の居場所を校内につくり、自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>										<p>4</p>
<p>安柔個 心軟別 なで目 教創標 育造6 環的 境な を学 習空 間と 安全 ・</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>3</p>	<p>以下の保護者アンケートから評価する。</p> <p>&lt;保護者アンケート&gt; 「学校は、訓練等を通じて、安全や防災について、指導している。」の質問に肯定的な回答の割合</p>		<p>4:90%以上</p>	<p>4</p>	<p>・保護者アンケートの肯定的な回答の割合……100%  ・毎月の避難訓練はもちろんだが、日頃の防災教育にも力を入れていく。 ・地域における防災の拠点となれるよう、今後も地域と協力するとともに、関係機関と連携を図っていく。</p>	<p>A</p>	<p>10</p>		
		<p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>			<p>4</p>	<p>3:80%以上</p>						
		<p>③WBGTの指標や熱中症警戒アラート等の様々な情報を基に、その都度適切な判断をして児童の安心・安全な環境を整えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>				<p>4</p>					<p>2:70%以上</p>	
												<p>1:70%未満</p>	

